

	令和4年度 アクションプランⅠ
重点項目	豊かな心の育成
重点課題	相手を意識したあいさつや返事ができる子供を育てる。
現 状	・子供たちはみんなが気持ちよく生活するために挨拶や返事が大切であることの意識が弱い。 ・登校時や下校時の玄関での挨拶は元気にできるが、友達や来校者、地域の人等、時と場合に応じた挨拶をすることが苦手な面がある。
達成目標	自己評価で「みんなが気持ちよく生活するためにあいさつや返事をすることができた」と回答した児童80%以上
方 策	・道徳、学級活動等をととして、挨拶や返事のもつ意味や大切さについて考える。 ・児童集会をととして挨拶の大切さや挨拶の仕方について見直す機会を設ける。 ・学期に1回SSTを実施し、挨拶や返事の具体的な例を知り、コミュニケーションのスキルを高める。 ・評価の時期は5月、7月、10月、2月とし、継続的に自分自身を振り返ることができるようにする。
外部評価者	地域代表 保護者代表 スクールアドバイザー
公開の方法	学校だより 学年だより 保護者会 ホームページ スクールアドバイザー会議

	令和4年度 アクションプランⅡ
重点項目	健康・体力の増進
重点課題	意欲的に楽しんで体力づくりや運動に取り組む子供を育てる。
現 状	・晴れた日の休み時間には、外で元気におにごっこをする姿が見られ、体を動かすことが好きな子供が多い。 ・ランニングや縄跳び等の体力づくりに進んで取り組む子供、意欲的でない子供の二極化が見られる。 ・「みんなでチャレンジ3015」に○を書き込むのを忘れてしまう傾向がある。
達成目標	「みんなでチャレンジ3015」のカードの目当て（立山頂上）を達成した児童90%以上
方 策	・1学期：走の運動 2学期：投げる運動 3学期：跳ぶ など、学期ごとに重点となる運動を決め、体力づくりの効果を高める。 ・運動能力テストを実施し、自分の体力や運動状況を知ることで運動への意欲を高める。 ・「みんなでチャレンジ3015」の目当てを達成したらシールを貼ったり、賞状を渡したりするなど、関心を高める。 ・運動委員会を中心に掲示板、放送を活用し、目当ての達成状況の周知や運動（外遊び、短縄等）の呼びかけを行うことで運動を促す。
外部評価者	地域代表 保護者代表 スクールアドバイザー
公開の方法	学校だより 学年だより 保護者会 ホームページ スクールアドバイザー会議